

2021年2月10日（水）

ウィズコロナ時代の遠隔運用・4K リモートプロダクション実験に成功

HTBは、国立研究開発法人 情報通信研究機構（NICT）、アストロデザイン株式会社、池上通信機株式会社、神奈川工科大学などと共同で2月5日（金）～2月8日（月）の期間で、4K リモートプロダクション実験、セグメントルーティングによる超高精細 8K*非圧縮映像配信実験、および遠隔による大規模実験運用を実施しました。

・4K リモートプロダクション実験

放送業界で注目されるリモートプロダクションでは、IP ネットワーク上で生中継を実現するために高精度な時刻精度が必須となるため、高精度時刻同期プロトコル PTP（Precision Time Protocol）が定められています。今回実験では PTP およびリモートプロダクション映像素材の長距離伝送・同期に成功しました。

・セグメントルーティングによる超高精細 8K 非圧縮映像配信実験

ネットワークのルーティング情報として、トラフィック量の最適化に効果の高いセグメントルーティング方式（SRv6）を用い、8K 非圧縮映像の広域ネットワーク上でのスイッチングに成功しました。

・遠隔による大規模実験運用

ウィズコロナ時代の映像制作、ネットワーク運用技術そのものを技術課題とし、超高精細映像を用いた広域映像配信実証実験を行いました。

*8K

8Kは、NHK 放送技術研究所が中心となって開発されているテレビ規格。4Kの約4倍、現行のフルハイビジョンの約16倍にあたる3,300万画素を持つ。横7,680×縦4,320の画素数であり、横方向の画素数が約8,000であることから8Kと呼ばれる。

このリリースに関するお問い合わせ
HTB 技術局 IT・放送システム部 三井
011-205-7631
メール：kmitui@htb.co.jp